

# 梶木敏巳の人生 風のままに

⑤

この「風のままに」⑤シリーズ掲載発行前の4月13日、ニューヨーク国連本部で国連NGO・OCAAM主催の「第18回情報貧困世界会議」に出席しました。郷里の虹ノ松原の環境保護が国連が採択した持続可能な開発目標のSDGsの目標15「緑の豊かさを守る」に該当します。官民一体の環境保護ケースとして唐津市の峰達郎市長がゲストスピーカーです。私も市長の紹介者としてスピーチしました。数年前にもフランス国会（セナ）のエコサミットに「ブリザードフraw」で選ばれて東洋の民間人としてはバリの友人ベロニクさんが私とフラワデザ

## 花の民間外交へ至る道

使とはブリザードフrawを宣伝媒体としてハワイや日本の各市町村に民間外交で訪問しました。それにしてもまさかニューヨーク国連で会議に出席してその役を果たせるとは思いませんでした。やはり「花」の媒体力の強さに感謝ですね。人は花はそんなに好きでなくても嫌いな人はいなかったですね。しかし不思議なもので高校生時代にすでに私は郷里の同級生でサッカー部の友人の神馬直史君に「日本の誇れる華道や茶道の世界に誇れる新旧の日本文化を世界に伝えるそんな仕事が見たい」と言っていたらしいです。どうも私には漠然としか記憶にありませんが、



サントスコロニア大統領ご夫妻と

合って手作りで建てました。店の名前は「狐狸庵」。当時の人気作家遠藤周作さんのペンネーム狐狸庵先生シリーズから私がつけました。なにせ素人のわか商売でした。難しくても知恵を出して何とかやりとげました。東京に戻れば大学生としての部活で「離島研究会」に所属します。それも東京でのバイト暮らしが忙しくて僕自身はほぼ休部状態でした。そんな中でも私は九州のトカラ列島の島に行つた折に島民の方から自家発電では電気が足りない、医者がいない等の窮状を訴えられて政府の離島センターに陳情します。しかし、島には選挙の票も足りず政治のパワーバランスが働かないことを初めて知らされました。大学生生活4年間は学外活動での無理な生活と長期の栄養失調で体調を崩し、東京の友達の家を転々として寝込み療養します。すると突然、福岡の母親から手紙が届きました。それには虫の知らせで夢を見てしまったの母を呼ぶ声が聞こえたのでもしや病氣してるのでは？という有難いお話です。すぐに帰れと書いてありそしてそこには旅費が入っていました。昼夜働く母親からの旅費で私は失意の中に一目散で福岡に帰ります。東京は怖い所だと嘆きながら、4年在籍した明治学院大学も結局は学内の激しい学生運動家なので試験粉碎学内乱入も多くてゼミナールの試験もなくなってしまった。東京で生活するに今までの洗礼を受け失意の中に今でいうパニック障害と栄養失調を抱えて心身ボロボロに帰郷しました。そして3か月寝たきりが続きます。そしてやがて地域振興としての地方の政治に私は自然に目が行きます。まさに風の吹くままにです。（かじき・としみ／花のある街振興会IFA代表）

212

「Cinderella」



## 心と体の声を聴く

20年前の日本なら、「瞑想」などという言葉を発したら、絶対「怪しい」と思われた。山にこもって、集団生活をして地下鉄サリンをまいて、たくさん犠牲者を出したオウム真理教の「地下鉄サリン事件」があったから。そして、今もその犯人たちの裁判があつたり、指名手配されている人がいたりする。一方、「マインドフルネス」という言葉が流行り、スティープ・ジョブズもや



## 初のNY長崎県人会

ニューヨーク長崎県人会は4月21日、第1回目となる長崎県人会を開催した。長崎県出身者が運営する「うみのいえ」にて開催された同会には18人の長崎県人および長崎ファンが出席し、同郷の話題や長崎の観光に関する話で盛り上がった。同会は今後も年2、3回の会合を計画。また新規会員も募集している。問い合わせはEメール [nynagasaki@gmail.com](mailto:nynagasaki@gmail.com) または電話646・235・0293（佐藤さん）まで。

## マクドナルド 脱冷凍肉宣言

大手ファストフード・チェーンのマクドナルドは4月25日、ニューヨーク市内の店舗で、人気ハンバーガー商品のパティをこれまでの冷凍品から新鮮な生肉に変え、注文ごとに調理するサービスを始めるとを発表した。対象商品は、クオーター・パウンダーとシグネチャー・クラフテッド商品で、使われる肉は以前から変わらぬ牛肉100%、添加物や防腐剤は一切使用しない。おたに・ゆりこ・1963年、奈良県生まれ。吉本興業マネージャーを経て、人材活性プロデューサー。『笑い』を取り入れた人材育成が話題に。著書に「元氣セラピー（KKロングセラーズ）」（はじめて講師を頼まれたら読む本（中経出版）など多数。

### 意見広告

### ●海外から歴史問題を考えるシリーズ ⑨

# アメリカで「慰安婦」像を建てろと言いまわっている人たち

## 戦後生まれの無知な世代が 日本叩きに慰安婦を利用している

私は昭和5年（1930）に電柱の「娼妓募集」の広告を見て、「娼妓つてなに」と母に聞いたことがあった。母は慌てた声で「子供には関係のない、知らなくてもいいことよ」と言った。（強制連行などしなくても、貧家に生まれた女性が親兄弟の犠牲になつて応募したのである。このように当時の社会背景に全く無知な韓国人の戦後生まれ世代が、アメリカやカナダで「韓国人女性が強制連行された」と言いまわっているのは、明らかに日本叩き（「慰安婦」を利用している）である。私から見れば実に恥知らずの連中と呆れている。そして日本でも、大学の名誉教授までが、韓国の不当な言いがかりを認めているのには、本当に情けないと思つている。この連中の歴史的無知に対して、まだ生存している者が正しいことを伝えなければ、日本は賠償金を取られ続けられ、世界各地に「慰安婦像」と称する少女像を建てられるのではないかと大いに危惧している。1965年6月22日に日本と大韓民国（韓国）との間で両国の関係正常化に関する「日本国と大韓民国との間の基本関係に関する条約」が調印された。1951年にサンフランシスコ講和条約で、日本と朝鮮の関係処理は両国の合意にゆだねられることになった。1952年2月に第一次韓米条約が開かれ、65年の妥結にいたるまで、実に15年ものあいだ、中断と再会を繰り返した。1965年6月に、日本（佐藤栄作総理）と韓国（朴正熙大統領）の間で調印された。これにより日本は韓国を朝鮮半島で唯一の合法政府と認めた。同条約は15年にわたる交渉の末に調印されたが、調印と批准には両国で反対運動が起きた。両国間の問題点は、総額8億ドル（無償3億ドル、政府借款2億ドル、民間借款3億ドル）の援助資金と引き換えに、韓国側は請求権を放棄した。この交渉中、日本政府は韓国側からの徴用者名簿等の資料提出を条件に個別補償を行うことを提案したが、韓国政府は個人への補償は韓国政府が行なうということで、日本政府は「慰安婦」への補償も当然含まれていると解釈したのである。日本が統治時代に朝鮮半島に持っていた53億ドルの個人資産や国有資産に対する最終請求権を放棄した。かくて日韓基本条約によつて、両国間の財産、請求権の一切の完全かつ最終的な解決が確認されたのである。条約は、英語、日本語、韓国語で2部ずつ作成され、両国政府で保管されている。

それまで、日本もそして日本の統治下の朝鮮でも公娼制度が認められていたのである。「日本国と大韓民国との間の基本関係に関する条約」が調印された。1951年にサンフランシスコ講和条約で、日本と朝鮮の関係処理は両国の合意にゆだねられることになった。1952年2月に第一次韓米条約が開かれ、65年の妥結にいたるまで、実に15年ものあいだ、中断と再会を繰り返した。1965年6月に、日本（佐藤栄作総理）と韓国（朴正熙大統領）の間で調印された。これにより日本は韓国を朝鮮半島で唯一の合法政府と認めた。同条約は15年にわたる交渉の末に調印されたが、調印と批准には両国で反対運動が起きた。両国間の問題点は、総額8億ドル（無償3億ドル、政府借款2億ドル、民間借款3億ドル）の援助資金と引き換えに、韓国側は請求権を放棄した。この交渉中、日本政府は韓国側からの徴用者名簿等の資料提出を条件に個別補償を行うことを提案したが、韓国政府は個人への補償は韓国政府が行なうということで、日本政府は「慰安婦」への補償も当然含まれていると解釈したのである。日本が統治時代に朝鮮半島に持っていた53億ドルの個人資産や国有資産に対する最終請求権を放棄した。かくて日韓基本条約によつて、両国間の財産、請求権の一切の完全かつ最終的な解決が確認されたのである。条約は、英語、日本語、韓国語で2部ずつ作成され、両国政府で保管されている。